

宮古・田老ゲートボール交流大会 2020 競技運営要項

1 出場資格

- (1) 障がいの有無、年齢、性別を問わない。
- (2) 健康上問題がなく、安全に配慮することができ、ゲートボール競技者としてのマナーを守れること。

2 チーム編成

- (1) 1チームの編成は監督1名、競技者5名以上8名以内とする。
- (2) 監督は選手を兼ねることはできない。また、チームには監督を置かなくてもよい。
- (3) 選手のうち、1名を主将とする。

3 競技方法

- (1) 参加チーム数により、リーグ戦を行う。組合せは当日抽選にて決定します（予定）。
- (2) 1日目の予選リーグの結果により、2日目は決勝リーグ戦、親善リーグ戦を行う。ただし、参加チーム数により変更する場合がある。
- (3) 競技時間は30分とする。ただし予選リーグのインターバルは5分以内。決勝及び親善リーグ戦のインターバルは10分以内とする。
- (4) 打撃時間は15秒以内とする。ただし、障がい等により、打撃準備に時間を要した場合等を除く。

4 表彰

上位入賞チーム（各リーグ上位3チーム）への表彰は閉会式にて行う。その他、各賞を設ける。

5 注意事項

- (1) コート設営
 - ①コートは、インサイドライン縦15m・横20mとし、区画はテープを使用する。
 - ②待機エリアは設けない。
- (2) 競技進行
 - ①先攻、後攻は抽選かジャンケンで決める。
 - ②リーグ戦の順位は次の順序にて決定する。→（イ）勝敗数（ロ）得失点差（ハ）対戦結果
 - ③競技の没収・棄権等は勝ちチームに7点を加え、得点を7対0とする。
- (3) 用具
 - ①スティックは各自持参すること。
 - ②試合球は主催者が用意する。
 - ③打順ゼッケンは、参加チームで用意すること。
 - ④監督・審判腕章は、参加チームで用意すること。

6 大会申合せ事項

(1) スパーク打撃

競技者より申告があり、主催者及び当該審判員が下肢の障がい等により、通常のスパーク打撃が困難であると認められた場合には、以下、①～⑤の要領にてスパーク打撃を行う。

- ①打者が他球にタッチする。
 - ②審判が、タッチされた他球を拾う。
 - ③審判が、打者にどの方向にスパークするかを確認する。
 - ④審判は、打撃方向に他球を置き、自球を拾う。
 - ⑤スパーク打撃後に同位置に自球を戻す。
- (2) タッチした他球の処理・・・原則として審判が行うが、打者が持って審判に渡しても良い。
 - (3) 触球違反・・・自球及び他球に車いすが接触した場合は、体の一部と見なし違反となる。
 - (4) スティックの長さ・・・障がい程度に合わせ調整することができる。